

# 葉面散布の注意点と具体的使用方法の提案〔りんご〕

1. 作物は、根からでなく、葉からも養分を吸収することができる。葉から直接養分が吸収されるので、速効性がある。  
しかし、根からの吸収量に比べて少なく、あくまで補助的な手段になる。
2. 下記のような条件等において、葉面散布の効果が期待(有効)できます。
  - ①天候不順(日照不足・異常高温低温等)があり、根の養分吸収機能が低下している。
  - ②土壌に施用しても、不可吸態になり、植物に吸収されにくい。      ③着果過多による同化養分の補給が追いつかない。
  - ④微量要素欠乏による生理障害が予想されたり、初期症状が発生した。
  - ⑤養分不足を急速に回復したい。      ⑥作物の品質向上を図る。

### 3. 注意点

- ①葉面散布における最適な温度は、15～25℃程度。5℃以下では、吸収が大幅に減少し、30℃を超えると葉焼け症状の発生が多くなるため、使用を控える。また、範囲内であっても、希釈倍率を薄めて、使用する事が望ましい。
- ②幼木や若い柔らかい葉はど、葉害を生じやすい。

4. 具体的使用方法の提案 ※あくまで、使用例です。表面と使用方法が異なる場合があります。  
※複数ある資材は、選択して使用下さい。

□で囲われた商品が、  
特におススメで

薬剤防除時期 (散布時期目安)	第1回 (3月中下旬)	第2回展葉始 (4月上旬)	(4月中旬)	第3回開花直前
凍霜害対策	第1回防除～第2回防除の間に単用 霜ガード:50倍又はアイスバリア333倍		特防除～第3回防除に混用散布 または単用散布 霜ガード:50倍はアイスバリア333倍	
品質向上 花芽充実 生理障害 対策	防除に混用散布 アミノメリット黄:500倍			
防除時期	第4回落花直後～第6回 (5月上旬～5月下旬)	第7回～第12回 (6月上中旬～8月下旬)	第13回・14回 (9月上中旬～9月下旬)	第15回 10月上旬
凍霜害対策	開花期～幼果期に混用散布 霜ガード:100倍			
品質向上 花芽充実 生理障害 対策	防除に混用散布  ケルパック66:5,000倍 又は 友果:500-1,000倍 又は オルガミン:1,000倍  + ストピットⅡ:500倍 又は スイカル:1,000倍 又は カルビタ:,1000倍 又は カルタス:500-1,000倍	防除に混用散布  ケルパック66:3,000倍 又は 友果:500-1,000倍 又は オルガミン:1,000倍  + ストピットⅡ:500倍 又は スイカル:1,000倍 又は カルビタ:,1000倍 又は カルタス:500-1,000倍	防除に混用散布  ケルパック66:1,000倍 又は 友果:500-1,000倍 又は オルガミン:2,000倍  + メリット赤:500倍 又は カルビタP:770倍 又は 色一番E:1,000-2,000倍 又は サンカラー:1,000倍	単用散布  ケルパック66:1,000倍 又は 友果:500-1,000倍 又は オルガミン:2,000倍  + メリット赤:500倍 又は カルビタP:770倍 又は 色一番E:1,000-2,000倍 又は サンカラー:1,000倍
	単用散布、2～3回 グリーントップ70:500倍 又は リーフマグ:1,000倍	単用散布、2～3回 グリーントップ70:500倍 又は リーフマグ:1,000倍		